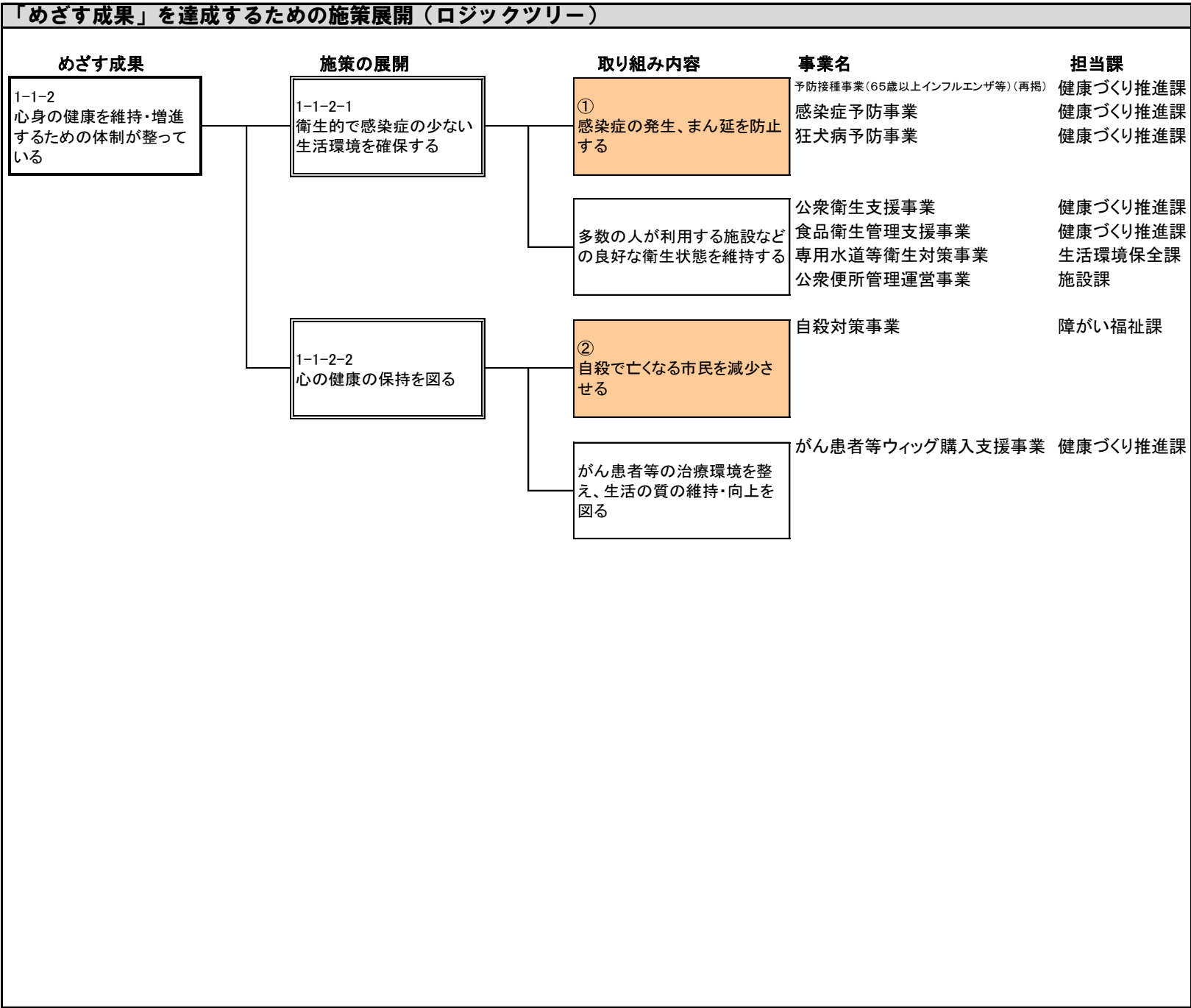


平成27年度「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート		
1－1－2 心身の健康を維持・増進するための体制が整っている		
総合計画体系	健康領域・基本目標	人の健康・一人ひとりがいつまでも元気でいられるまち
	個別目標	心身の健康を維持・増進する
	めざす成果	心身の健康を維持・増進するための体制が整っている
		感染症などの予防に取り組むとともに、効果的な自殺対策が進み、心身の健康が維持されています。



成果を計る 主な指標	指標の名称	前期基本計画			後期基本計画		
		計画策定時 (H20)	最終目標値 (H25)	実績値 (H25)	実績値 (H26)	中間目標値 (H28)	最終目標値 (H30)
	① 65歳以上のインフルエンザ予防接種受診率	38.4%	50.0%	35.0%	36.0%	50.0%	50.0%
	② 自殺死亡率（人口10万人あたりの自殺死者数）	20.2人	16.4人	20.7人	17.6人	15.5人	15.5人

所 管 部	健康福祉部、環境農政部	
平成26年度の取り組み内容	【衛生的で感染症の少ない生活環境を確保する】 ・感染症の発生やまん延を防止するため、65歳以上の市民18,365人にインフルエンザ予防接種を実施しました。また、10月から成人用肺炎球菌予防接種が定期接種となり、65歳以上の市民3,147人が接種を受けました。 ・安全で衛生的な飲料水の確保のため、水道施設の設置者に対する実態調査により、台帳整備を行うとともに、衛生管理に関する啓発活動を行いました。 【心の健康の保持を図る】 ・「こころの健康相談専用電話」において、296件の相談を受けました。また、地域の中で自殺に傾いた人に気づき各相談機関へつなげることを役割とする「こころサポーター」を養成するなど、こころに悩みを抱える人に対する相談体制の整備を図りました。	
構成事業に対する考え方（事業の量及び実施手法）	・今後も正確な情報を発信し、予防接種に対する理解を深め、適正に実施できるよう検討していく必要があります。 ・水道施設の設置者に対する実態調査や立入調査を通じて、届出状況を確認するとともに、衛生管理等についての指導・啓発を行うことが必要です。また、貯水槽水道については、未届になっている施設があるため、パンフレットを作成し、意識啓発を進めます。 ・近年、本市の自殺死亡率はほぼ横ばいとなっていますが、こころの健康相談専用電話等では、自殺に傾いた方からの相談に丁寧に応じ、必要な支援をすることで、自殺予防に効果があったと捉えています。自殺が全国的に減少傾向にある中で、減少幅の大きい自治体の事例なども検証して取り入れつつ、今後も関係部署と連携し、本市における自殺の現状や傾向を分析し、より実効性のある施策を展開していきます。	
今後の展開方針		注）例年どおりの事業展開を予定している事務事業については、特段の記載をしていません。
新規事業の立案		（該当する事務事業）
既存事業の拡充		（該当する事務事業）
事業の廃止・縮減		（該当する事務事業）
事業の効率化		（該当する事務事業）
その他見直し		（該当する事務事業）